



## Anniversary No.6



### 似顔絵イラストができるまで ~ちょっとした裏話~

今回の40周年記念誌に掲載されている似顔絵イラストは、実はちょっとした遊び心から始まりました。

きっかけは、八中くんの“妹的なキャラクター”として、会長の守屋さんをモデルに、ChatGPTを使って「あいちゃん」というキャラクターを制作したことでした。

「せっかくだから40周年の記念に、先生方のキャラクターも作ってみたら面白いのでは？」  
そんな思いつきから、今回の企画がスタートしました。

しかし、制作は思っていた以上に試行錯誤の連続でした。画像作成には回数制限があり、同じ文章で依頼しても毎回少しずつテイストが変わってしまうため、「これだ!」と思える表情や雰囲気にとどり着くまで、何度も挑戦しました。

そうして完成したのが、今回の先生方のキャラクターです。

40周年の記念として生まれたこのキャラクターたちが、これからも学校のさまざまな場面で、先生方に使っていただけたらとても嬉しいです。



40周年記念式典、記念誌等が無

事に終了し、40周年の年がまもなく終わろうとしています。

Anniversaryの発行もこれで最後となります。

そこで、今回ご協力いただいた皆さんに少しだけお話を聞いてみました。



#### ① 担当・名前

- ② 40周年に関わると決まった時、どう思いましたか？
- ③ 活動を通しての裏話がありますか？
- ④ 活動を終えての感想をお願いします。

次ページへ



## ①校長・酒井 和浩

②校長としてやるしかない

③ハ中くんの作者がわかったのは、たまたま同じ出張で一緒になり、本当にたまたま席が隣になった作者の母親が「ハ中くんは息子が作ったんですよ」と声をかけてくれたから

④とても忙しく、担当の方々には大変ご迷惑をおかけいたしました。しかし、皆様のご協力のおかげで素晴らしい40周年行事となりました。本校PTAの素晴らしさを実感しました。ありがとうございました。自慢の学校です。



## ①教頭・楠田 智希

②「周年行事を執り行うことは初めてだから心配だなあ…大丈夫かなあ…?」と思いました。

③業社がこちらのオーダーとは違う提示を繰り返すためイライラしてしまいました…笑

④なんとか形に残せたので良かったです。関わっていただいた全ての皆様方に改めて感謝申し上げます。50周年行事には、全メンバーで集合して思い出を語りましょうね!



## ①実行委員長・守屋 愛子

② 創立40周年という節目の事業に関わることができ、とても嬉しく思いました。10年後、成長した皆さんに会えることも楽しみだなと感じました。

③なし

④航空写真では多くの地域の方や保護者の方に参加していただき、思い出深いものになりました。芸術劇場での記念式典では校歌の3部合唱に挑戦し、写真や先生方のイラストを使った記念誌もとても素敵なものになったと思います。校内に飾りました、美術部の作品もとても可愛い作品です。関わってくださったすべての方に感謝しています。ありがとうございました。



## ①実行委員・山崎 利江

②40周年の節目で、中学校に通う子どもたちが自分たちの学校がより愛着の湧く場所になればいいなと思いました。

③なし

④一緒に活動した実行委員の方や先生、PTA、地域の方や関わってくれた生徒さんなどみなさまそれぞれ忙しい中協力いただき大変感謝しています。



## ①実行委員・関根 美香子

②何から取りかかったら良いのかとても不安でしたが、みんなの心に残る事ができたら良いな、と思いました。

③なし

④先生方や生徒、地域の皆さんと関わる機会が沢山あり、とても貴重な経験ができました。航空写真撮影は、1つのものを作り上げた達成感があり、出来上がった人文字を見た時は感動しました。10年後、タイムカプセルを開ける時を皆さんが楽しみにしていてくれたら嬉しいです。



## ①実行委員・水野 紗都美

②機会が少ない周年記念事業に携われるとは光栄なことだと思いました。

③なし

④全くの白紙から皆んなで案を出し合い、無事に終えることができ安堵いたしました。

このメンバーで活動できたことが何より嬉しく感謝の気持ちでいっぱいです。



## ①実行委員・阿部 徳子

②忙しくなるなあ！でも、子ども達に喜んでもらえるように頑張ろう！

③校歌三部合唱について。立案は早かったのですが、許可取りなどに思った以上に時間と手間がかかり、本当に歌えるのか肝を冷やしました。

④手探り状態で始まり、実行委員や学校とのスケジュール調整・許可取りなど想定外の事態も起こりつつ、受験生の母達が多い中の苦労もありましたが、式典が無事に結び、記念誌を手にした時には、達成感に包まれました。ご協力いただいたすべての皆様に感謝しています。ありがとうございました！



## ①記念誌担当・佐藤 友紀

②40周年という節目に、記念誌作成という形で事業に関わらせていただけることを、大変ありがたく思いました。これまで積み重ねられてきた想いが伝わる、節目にふさわしい一冊にしたいという思いを持ちました。

③なし

④時間をかけて作り上げた記念誌が形になり、手元に届いたときは、とても嬉しく思いました。皆さまのもとへ無事にお届けでき、感謝とともに安心しております。この活動を通して、とても良い経験をさせていただきました。



## ①会計・柳瀬 七恵

②10年に一度しかない大役がまさか自分に回ってくるとは思わず…衝撃

③なし

④想像よりも活動が多岐にわたり大変でしたが、貴重な経験になりました。



## ①記念誌担当・栗原 華代

②こんな大きな担当、関わってみたいけど、私がやっていいのかな？そもそも作れるのか心配でした。

③業者さんとのデータでの意思疎通、本当に大変でした。素人にはなかなかのものでした。

④無事にデータが完成し、完成品が手元に届くまでドキドキでしたが、いざ目の前になると感動でした！40周年という節目に携われたこと、本当に感謝してます。ありがとうございました。



記念の品物

美術部作品



タイムカプセル



## 編集後記

これまで5回にわたり発行してきた【Anniversary】ですが、式典も無事に終え、今回で最後の発行となりました。「がくふり」を通して多くの皆様にご覧いただいたことを、大変嬉しく思っております。

また、写真などをご提供くださった保護者の皆様、教職員の皆様に心より感謝申し上げます。

40周年という節目の年に、式典をはじめ多くの行事に携わることができ、私たちにとっても大変貴重な経験となりました。40年の歩みと皆様の想いを詰め込んだ記念誌も無事に完成いたしました。

この記念すべき時間が、皆様の心にも長く残りますようお願いしております。